

**【2024年10月号】札幌コンサートホール主催事業のご紹介**

芸術の秋到来！Kitaraのシンボルであるパイプオルガンのリサイタルをはじめ、繊細で温かみのある音色のチェンバロ、賑やかで楽しいパーカッション公演のほか、Kitaraギャラリーでの催物もご紹介します。

10/12(土)  
14:00 開演

新オルガニスト、遂にお披露目！  
**第25代札幌コンサートホール専属オルガニスト  
ファニー・クソー デビューリサイタル**

Kitaraでは、パイプオルガンの魅力を広く発信するため、毎年ヨーロッパから1年間の任期でオルガニストを招聘しています。今回新たに、フランス出身のファニー・クソーが専属オルガニストとして着任しました。これから1年間の活動をぜひ応援してください！

**挨拶がわりに J.S.バッハを中心としたプログラムを演奏！**

本公演では、J.S.バッハの時代から現代まで、数世紀にわたるヨーロッパ音楽の旅をテーマに、専属オルガニスト活動の幕開けを飾る渾身のプログラムをファニーが考えました。バッハのコラールにインスピレーションを受けた2人の作曲家の作品を聴き比べることもできる魅力的なプログラムです。

フランスではオルガンとピアノの指導も行い、教育活動にも熱心なファニーの演奏にご期待ください。

公演の詳細は  
こちら



オルガン/ファニー・クソー

11/2(土)  
14:00 開演

ドイツが誇る鍵盤楽器のスペシャリストが北海道初登場  
**アンドレアス・シュタイアー チェンバロリサイタル**

世界に誇るKitaraの音響の素晴らしさをより実感できる公演の一つがチェンバロのリサイタル。繊細な音までしっかりと客席へ届くのが魅力で好評を博しています。

今年は、鍵盤楽器を熟知し、古楽界の巨匠への道を着実に歩むアンドレアス・シュタイアーがKitaraのチェンバロを奏でます。

**日本ツアーでは名曲をはじめ、自身の作品も披露！**

今年2月にソロ・アルバムを発売したばかりのシュタイアー。今回の日本ツアーでは、そのCD収録曲を全てプログラムに組み込んで演奏します。シュタイアーは、「聴きどころをあえて絞るとするなら、クーブランの『パヴァーヌ』、フローベルガーの『来たるべき自らの死についての瞑想』である」と語り、シュタイアー自身の作品『アンクレンゲ〜チェンバロのための6つの小品(2020)』については、「自分自身の心に最も近い作品」とも話してくれました。

フォルテピアノ、モダンピアノを自在に弾き分けるスペシャリストが奏でるチェンバロの音色をご堪能ください。

公演の詳細は  
こちら



チェンバロ/アンドレアス・シュタイアー

11/9 (土)  
14:00 開演

# 楽しい！奥深い！打楽器の魅力が盛りだくさん！ 新野 将之パーカッションコンサート ～知っているようで知らない打楽器の世界～

昨年度のKitara あ・ら・かると「3歳からのコンサート」で大好評だった打楽器奏者の新野 将之が再びKitara に登場！様々な打楽器をステージいっぱい並べ、楽器の魅力を徹底解剖します。

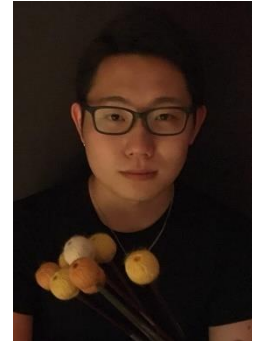
## オリジナリティ溢れる、誰でも楽しめるコンサート！

新野のコンサートの醍醐味は何と言っても独創性！打楽器の面白さを存分に引き出すプログラムに定評があります。「これも打楽器なの？」、「この楽器ってこんな音が出るんだ！」と、年齢問わず楽しめるコンサートになること間違いなし！小学生以上 25 歳以下は 500 円でご入場いただけます。音楽を学ぶ学生さんにもおすすめです！

公演の詳細は  
こちら



パーカッション/  
新野 将之



マリンバ/  
上野 岳 (ゲスト)

## ゲストには札幌出身の打楽器奏者が登場！

ゲストとして登場するのは、札幌出身の打楽器奏者の上野 岳。今年1月のKitara アーティスト・サポートプログラム「マリンバの可能性～古典から現代～」公演で大成功を収め、後進の指導にも力を入れている注目のアーティストです。今回はマリンバ・デュオで名作『トルコ行進曲』を演奏します。

好評  
開催中

## 札幌芸術の森美術館と初めての連携！ マイ・ガーデン

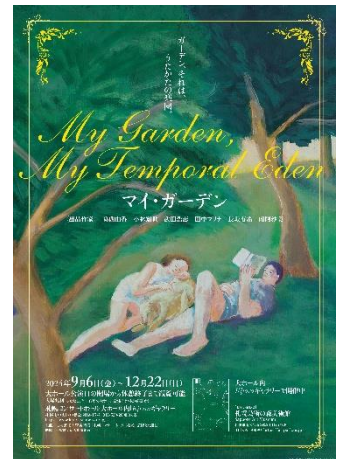
2026年に札幌芸術の森は開園40周年を迎えます。それを記念して、同年夏には「Flowering Garden」を開催する予定です。このイベントとして、現在Kitara ギャラリーで展覧会を開催しています。

※この催物は、札幌コンサートホールと札幌芸術の森美術館の連携事業として実施いたします。

## 北海道ゆかりの作家6名による癒しの空間！

伝統的に「楽園の再現」という役割を担ってきた「ガーデン (garden)」。本展では、自然の移ろいやその中で束の間の休息を楽しむ人々をテーマとした北海道にゆかりのある作家6名の作品を展示しています。大ホール公演にお越しの際には、ぜひKitara ギャラリーにもお立ち寄りください。

〈出品作家〉葛西 由香 小林 知世 武田 浩志 田中 マリナ  
長坂 有希 南 阿沙美



【会期・時間】9月6日(金)～12月22日(日)

大ホール公演日の開場から休憩終了まで

【会場】札幌コンサートホールKitara 大ホール内「Kitara ギャラリー」

【入場料】無料 ※ただし、当日有効の大ホール公演チケットが必要です。

展覧会の詳細は  
こちら



## 取材のお申込をお待ちしております！

【お問合せ】

各公演：札幌コンサートホール事業課事業係／Kitara ギャラリー：札幌コンサートホール管理課

〒064-8649 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575